

フラッシュシユライト

大作戦

県内で死亡事故が多発しています！

交通事故死者数が全国ワースト1である愛知県。今年に入ってからも県内では交通死亡事故が多発しています。このような悲しい事故をなくすためには、交通安全への意識向上を図り、「自分の命は自分で守る」という日ごろからの取り組みが重要です。

もしも、夜間に出掛ける必要がある場合には、LEDのフラッシュシユライトを身に付けたり、自転車などに取り付けたりすることで、自動車などの運転者に自分の存在を知らせることができます。幸田町では、夜間などの事故の撲滅を目指し、LEDライトの利用を強くすすめています。

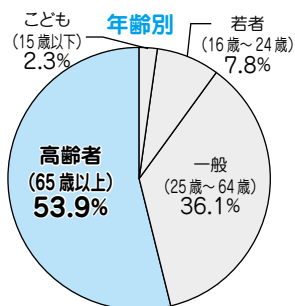
平成25年中の交通事故情勢について、愛知県では昨年の交通事故死者数は219人(前年比マイナス16%)と、前年より大きく減ったものの11年連続で全国ワースト1となっており、しまいました。

幸田町においては平成23年11月21日以降、565日にわたって交通事故死亡事故ゼロを継続してきましたが、昨年は2人の尊い命が交通事故により失われてしまいました。この2件の死亡事故はいずれも夜間に発生し、そのうちの1件は歩行中の高齢者が後ろから来た自動車に追突されるといったものでした。

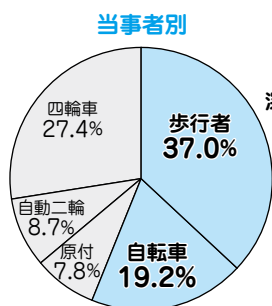
どのような人が事故に遭いやすく、どのような時間に事故が発生しやすいのでしょうか。下と左ページのグラフを元に考えてみましょう。

平成25年の県内における死亡事故の特徴

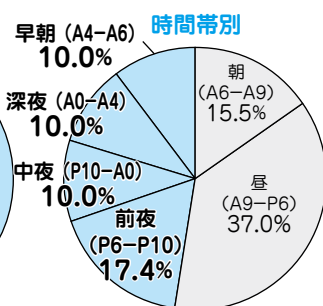
- ・高齢者が半数以上を占めている
- ・歩行者や自転車に乗っている人が犠牲となる事故が多い
- ・人が出歩くことが少ない時間にもかかわらず、夜間～早朝の事故が約半数



区	分	死者数	構成率
こども (15歳以下)	5	2.3	
若者 (16歳~24歳)	17	7.8	
一般 (25歳~64歳)	79	36.1	
高齢者 (65歳以上)	118	53.9	



区	分	死者数	構成率
歩行者	81	37.0	
自転車	42	19.2	
四輪車	60	27.4	
自動二輪	19	8.7	
原付	17	7.8	
その他	0	0.0	



区	分	死者数	構成率
朝 (A6-A9)	34	15.5	
昼 (A9-P6)	81	37.0	
前夜 (P6-P10)	38	17.4	
中夜 (P10-A0)	22	10.0	
深夜 (A0-A4)	22	10.0	
早朝 (A4-A6)	22	10.0	

※また、自動車運転者の交通違反や前方不注意が原因となる事故が多いようです。

# 自光式LEDライトを 活用しましょう!

この写真は、LEDライトをサドルの下に取り付けた自転車(左)と、付けていない自転車を比較したものです。左の自転車の人は黒い服を着ていますが、LEDライトの明るい光で後続車などに存在を知らせています。右の人は、LEDライトを付けていないため、写真のような街灯の下では存在を確認できますが、辺りが暗くなるにつれ、姿が徐々に見えなくなりました。しかし、LED+明るい色(白色系)の服を着るとさらに効果的であることが分かります。



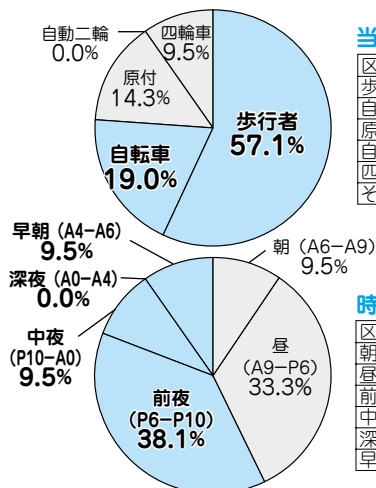
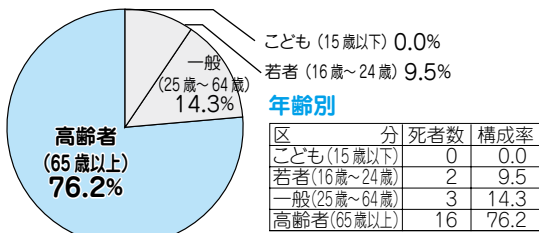
昨年の町内の死亡事故は  
2件とも夜間に発生。

今年に入ってからの県内の  
死亡事故の6割が  
夜間に発生しています!

平成26年の交通事故  
情勢について

平成26年1月31日現在、今年  
の愛知県内の交通事故死者数は  
21人となり、全国ワースト1と  
なっていました。  
今年の死亡事故の特徴として  
も、やはり歩行中の高齢者が犠  
牲となる事故が多いことや夜間  
の死亡事故が多いことがあげら  
れます。21人の犠牲者のうち、  
夜間に犠牲となった人が12人、  
高齢者は16人でした。  
とくに夜間に犠牲となった人  
のうち半数以上は道路横断中に  
犠牲となっています。

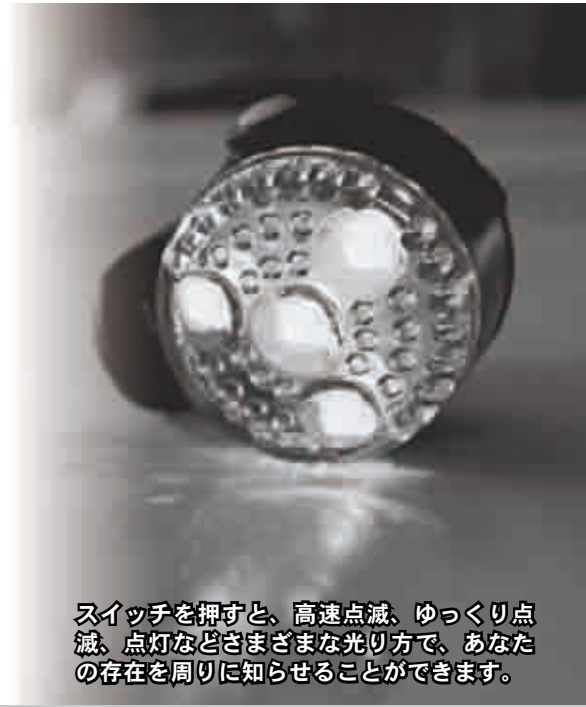
## 平成26年1月31日現在の 県内における死亡事故の特徴



自分の身は  
自分で守ろう!

夜間における交通事故では、  
暗くて見通しが悪いことや車が  
スピードを出しているなどの理  
由から重大な交通事故につな  
がってしまいます。  
夜間は、歩行者から車のライ  
トが見えても、運転者からは歩  
行者が見えないことがあります。  
そこで夜間に歩行する際には  
自分の存在を運転者に気付い  
てもらうことが重要です。夜間  
に外出する際には明るい服装や  
反射材、自光式LEDライトを  
使い、自分自身の存在を運転者  
に知らせましょう。





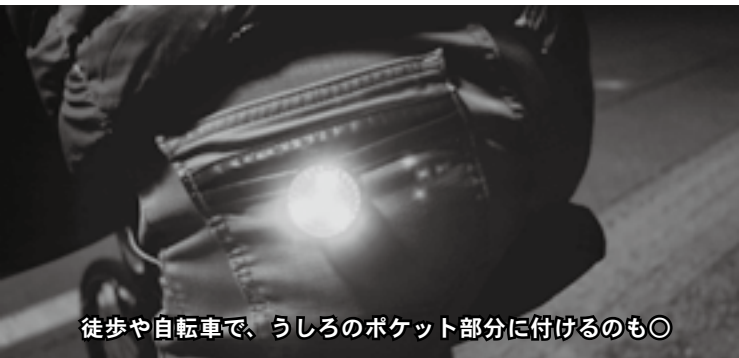
## 自光式LED ライトについて

スイッチを押すと、高速点滅、ゆっくり点滅、点灯などさまざまな光り方で、あなたの存在を周りに知らせることができます。

町内で昨年発生した死亡事故においては、反射材を付けていたにも関わらず、後ろから来た自動車に追突されてしまいました。反射材は自動車のライトなどが当たらないと発光せず、この時は反射材を横向きに付けていたため、効果が発揮されませんでした。

そこで岡崎警察署が中心となり、昨年秋季ごろから、車のライトに頼らない自光式LEDライトの普及をすすめています。

自光式LEDライトは電池によって発光するため、反射材のように車のライトが無くてもしっかり光り、とても目立ちます。また、LEDを使用しているため遠くからでも目立ち、運転者にいち早く気付いてもらうことができます。



徒歩や自転車で、うしろのポケット部分に付けるのも◎



巻けるシリコンタイプのものは、サドル部分などに付けて、後方の車に自分の存在を知らせることができます



高齢者交通安全講話の様子

昨年12月、岡崎市内の4事業所から寄贈されたLEDライトが、岡崎警察署を通して管内の中学校・高校に通う自転車通学の生徒に配布されました。

町の防災安全課においても、昨年の秋ごろから高齢者交通安全講話などを通して紹介・配布をし、一部の区や老人クラブでも購入・配布していただいています。今後も普及を図っていきますが、現在手元にあって使っていないという人がいましたら、この機会にぜひ活用してください。

## LEDライトが 配布されました

# フラッシュライト 大作戦

夜道では、車から歩行者は見えません。  
LEDライトで自分の存在を伝えて。

皆さんは、暗い夜道を車で走っている時、急に人や自転車が見えてびっくりしたことがありませんか。自転車や歩いている人は「自分から車が見えているから」と安心していきますが、実は車からは全く見えていないのです。

やはり、暗い道を歩くときに必要なのは、自分の存在を伝える反射材や自光式LEDライトです。特に、LEDライトは着脱が簡単で、スイッチ一押しでピカピカ光る優れものです。これを点けて自転車に乗ったり、歩いたりすれば、遠くからドライバーの注意を喚起することができ、交通事故に巻き込まれることを防ぐことができます。

「LEDライトを点けて自分の身は自分で守る」これからの合い言葉です。



岡崎警察署  
やまおか てるひさ  
山岡 輝久 署長



クリップ式は、かばんなどのストラップ部分でも○

## LEDライトを使ってみよう！ (モニター募集)

町では、夜間の交通事故を減らすために、夜間に目立つLEDライトの普及を図っています。そこで、1人でも多くの人に利用していただくために体験利用者を募集します。暗い時間帯に徒歩や自転車で出歩く人はぜひご利用ください。



- 募集期間** 3月3日(月)～31日(月)
- 対象** 町内に在住・在勤の人で暗い時間帯に徒歩または自転車で帰宅や外出などをされる人。申込者本人の分(お一人につき1つまで)に限らせていただきます。
- 募集人数** 200人
- モニター方法** 自光式LEDライトを2週間お使いいただき、使用時間帯や使用方法などのアンケートに答えていただきます。使用したLEDライトについては今後も利用していただくため、返却の必要はありません。
- 申込み** 役場3階防災安全課窓口でお申し込みください。窓口でLEDライトとアンケート用紙をお渡ししますので、後日アンケート用紙を防災安全課へ提出してください。
- 問合せ** 防災安全課安全対策G(内線371)